

平成30年3月期 第1四半期 決算説明資料

平成29年7月28日
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

目次

1 .. 平成30年3月期 第1四半期の業績

2 .. 平成30年3月期 第1四半期のハイライト

業績

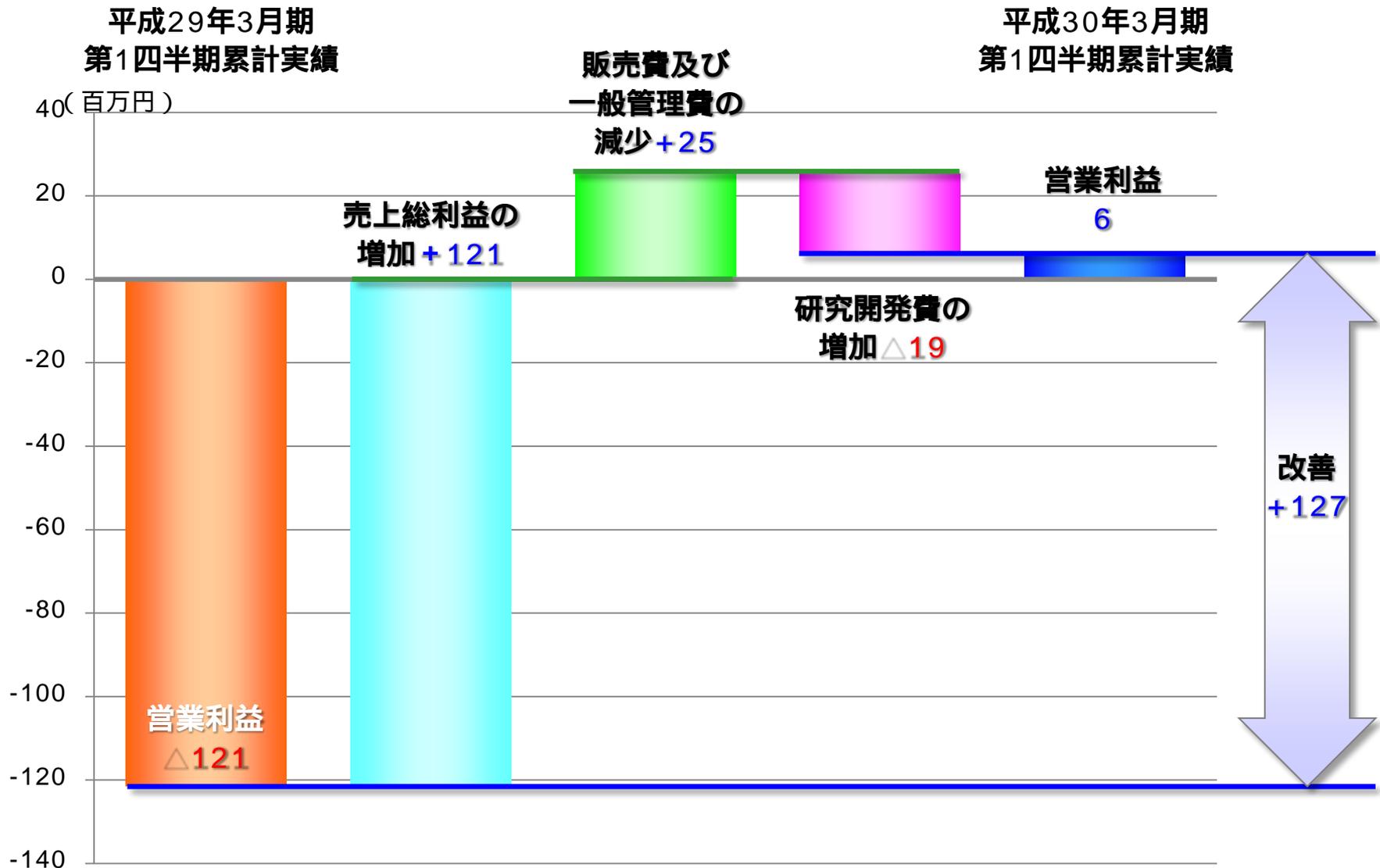
損益計算書の概要

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は千円単位で計算)	平成29年3月期		平成30年3月期				
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	対前年同期		通期予想 (4月27日発表)	対予想 進捗率
				増減額	増減率		
売上高	360	2,135	507	147	40.8%	2,492	20.4%
売上総利益	161	1,224	282	121	75.0%	-	-
販売費及び一般管理費	282	911	276	6	2.2%	-	-
営業利益	121	312	6	127	黒字化	289	2.1%
経常利益	122	309	5	127	黒字化	288	1.9%
四半期純利益	122	276	3	125	黒字化	266	1.3%

- ✓ 平成30年3月期 第1四半期においては、売上高が好調に推移したことと、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は6百万円となり、第1四半期累計期間として初めて営業黒字となった。

業績

営業損益増減の内訳



業績

セグメント別の売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は千円単位で計算)	平成29年3月期		平成30年3月期				
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	対前年同期		通期予想 (4月27日発表)	対予想 進捗率
				増減額	増減率		
ジェイス	178	743	276	98	54.8%	789	35.0%
ジャック	83	323	90	7	9.3%	561	16.2%
再生医療製品事業	261	1,066	366	105	40.3%	1,350	27.2%
再生医療受託事業	78	976	115	37	46.9%	1,025	11.2%
(ラボサイト) 研究開発支援事業	20	91	25	5	23.5%	116	22.3%
売上高合計	360	2,135	507	147	40.8%	2,492	20.4%

- ✓ 再生医療等製品事業は、前年同期比105百万円、40.3%の増加。
- 自家培養表皮ジェイスは、重症熱傷、母斑ともに好調で、前年同期比98百万円、54.8%の増加。
- 自家培養軟骨ジャックは、前年同期比7百万円、9.3%の増加。
- ✓ 再生医療受託事業としては、前年同期比37百万円、46.9%の増加。
- ✓ 研究開発支援事業（ラボサイト）は、前年同期比5百万円、23.5%の増加。

平成30年3月期より、再生医療製品事業に含まれていた受託開発を分離・独立して再生医療受託事業とし、再生医療製品事業・再生医療受託事業・研究開発支援事業を報告セグメントとしています。

業績

貸借対照表の概要

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	平成29年3月期 平成29年3月31日	平成30年3月期 平成29年6月30日	増減額
流動資産	5,070	6,638	1,568
固定・繰延資産	3,475	1,946	1,529
資産合計	8,546	8,584	38
流動負債	498	516	18
固定負債	42	41	1
負債合計	541	557	16
資本金	4,949	4,958	9
資本剰余金	2,779	2,788	9
利益剰余金	276	279	3
純資産	8,005	8,027	22
負債・純資産合計	8,546	8,584	38

長期預金からの振替と
助成金対象の受託研究
費用の資産計上

長期預金の減少と固定
資産の減価償却

助成金対象の受託研究
に係る仮受金の発生

新株予約権の行使

業績

平成30年3月期 通期業績予想

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は千円単位で計算)	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 計画	対前期比	
			増減額	増減率
ジェイス	743	789	46	6.3%
ジャック	323	561	238	73.5%
再生医療製品事業	1,066	1,350	284	26.6%
受託開発	676	1,025	349	51.5%
特許譲渡	300	-	300	100%
再生医療受託事業	976	1,025	49	5.0%
(ラボサイト) 研究開発支援事業	91	116	25	26.6%
売上高	2,135	2,492	357	16.7%
営業利益	312	289	23	7.2%
経常利益	309	288	21	6.8%
当期純利益	276	266	10	3.7%

- ✓ 平成29年4月27日に発表した通期業績予想に変更はありません。
- ✓ 当期純利益は、売上増加により、前事業年度に引き続き黒字を維持する見込みです。

平成30年3月期より、再生医療製品事業に含まれていた受託開発を分離・独立して再生医療受託事業とし、再生医療製品事業・再生医療受託事業・研究開発支援事業を報告セグメントとしています。

目次

1 .. 平成30年3月期 第1四半期の業績

2 .. 平成30年3月期 第1四半期のハイライト

ハイライト (1) ジェイス（母斑）が順調に普及

- ✓ 平成28年12月より保険適用となった、先天性巨大色素性母斑の治療を目的としたジェイスが、順調に受注を伸ばしている。

（母斑）受注実績あり都道府県

ü 9都府県・11施設で受注実績

ü 累積受注件数：22症例
（平成28年12月～29年6月末）



患者さま向け情報

患者さま向け情報
培養表皮による
あざの治療とは

当社ホームページで、
患者さま向け情報を提供

「先天性巨大色素性母斑」とは

黒褐色のあざが体の広範囲にみられる疾患で、悪性化して皮膚がんになる危険性があるとされている。患者数は、新生児の約2万人に1人程度。



ハイライト (2) ジェイス（重症熱傷）の再審査終了

- ✓ 当社は、重症熱傷の治療に使用されている自家培養表皮ジェイスについて、承認条件であった製造販売後臨床試験の実施と、再審査（ ）期間である7年間にわたり全症例を対象とする使用成績調査を実施。
- ✓ 平成29年6月、再審査結果が厚生労働省の部会へ報告され、重症熱傷の【効能、効果又は性能】に変更はありません。



自家培養表皮ジェイス

効能、効果又は性能

1. 重症熱傷

自家植皮のための患皮面積が確保できない重篤な広範囲熱傷で、かつ、受傷面積として深達性 度熱傷創及び 度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象とする。表皮細胞シートは 度熱傷創において、再構築された真皮に適用し、創を閉鎖することを目的とする。真皮の再構築は原則として同種皮膚移植による。深達性 度熱傷創への使用は、 度熱傷と深達性 度熱傷が混在し、分けて治療することが困難な場合に限る。

再審査：承認後一定期間が経過した後に、企業が実際に医療機関で使用されたデータを集め、承認された効能効果、安全性について、再度確認する制度。

ハイライト (3) JOSKASにてランチョンセミナー開催

- ✓ 平成29年6月に開催された第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）にて、ジャックを用いた膝関節軟骨治療の最前線を紹介するランチョンセミナーを開催し、大盛況を収めた。



第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）
ジャックを用いた膝関節軟骨治療の最前線を紹介するランチョンセミナー

ハイライト (4) 決算説明会 動画配信スタート

- ✓ 平成29年5月8日に開催した「平成29年3月期決算及び中期経営計画説明会」を、代表取締役からのトップメッセージ映像とともに動画配信（配信期間：6ヶ月）。

<http://www.irwebcasting.com/20170508/2/e1cdd35e8e/mov/main/index.html>



The screenshot shows a video player interface for the J-TEC IR webcasting event. On the left, there is a video feed of a man in a suit, identified as the Representative Director and Executive Officer. Below the video is a table of contents (再生リスト) with the following items:

- 最初から再生
- ▶ 平成29年3月期決算 及び中期経営計画説明会
- ▶ 平成29年3月期 決算説明
- ▶ 1. 当社の事業概要
 - 事業セグメント
 - 当社の再生医療特製品
 - 自家培養表皮ジェイス(重症熱傷)
 - 自家培養軟骨ジャック
 - 自家再生医療特製品のビジネスモデル
- ▶ 2. 平成29年3月期の業績
 - 損益計算書の概要
 - 営業利益増減の内訳
 - セグメント別の売上高
 - 貸借対照表の概要
 - キャッシュ・フローの概要
 - 平成29年3月期 通期業績予想

The main content area features the J-TEC logo and the title "平成29年3月期決算 及び中期経営計画説明会" (Financial Results and Mid-term Business Plan Presentation for the 3rd Quarter of FY2017). The date "平成29年5月8日" (May 8, 2017) and the company name "株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング" (Japan Tissue Engineering Co., Ltd.) are also displayed. The stock code "証券コード：7774" is shown in the top right corner. At the bottom, there are navigation buttons for "前へ" (Previous) and "次へ" (Next).

参考資料

事業セグメント

再生医療製品事業

自家培養表皮



製品写真



外装写真

自家培養軟骨



製品写真



外装写真

研究開発支援事業

ラボサイト

(研究用ヒト培養組織)



製品写真



外装写真

ヒト3次元培養表皮

ラボサイト

エピ・モデル12

エピ・モデル24

エピ・キット(作成用)

ヒト3次元培養角膜上皮

ラボサイト角膜モデル24

(数字はウェル数)

再生医療受託事業(2018年3月期より)

医薬品医療機器等法

開発製造受託 (CDMO)

開発業務受託 (CRO)

再生医療等安全性確保法

コンサルティング

特定細胞加工物製造受託

CDMO : Contract Development and Manufacturing Organization, CRO : Contract Research Organization

当社の再生医療等製品

	 <p>自家培養表皮</p>	 <p>自家培養軟骨</p>	 <p>自家培養表皮</p>	 <p>自家培養 角膜上皮</p> <p>(開発名：EYE-01M)</p>
製品写真				
基本技術の導入元	米ハーバード大学 Howard Green 教授	広島大学 越智 光夫 教授	医師主導治験を企業治験として継承 (H26/1)	伊ベネトアイバンク 伊モデナ大学 M. De Luca教授 G. Pellegrini教授 株式会社セルシード
適応対象	重症熱傷	膝関節における 外傷性軟骨欠損症 又は離断性骨軟骨炎	先天性巨大色素性母斑	角膜上皮幹細胞疲弊症
承認状況	製造販売承認 H19/10 保険収載 H21/1	製造販売承認 H24/7 保険収載 H25/4	一部変更承認 H28/9 保険収載 H28/12	治験計画届 H26/10
特記事項	第1号再生医療等製品	第2号再生医療等製品	再生医療初の適応拡大	NIDEKより開発受託

参考資料

自家培養表皮ジェイス（重症熱傷・母斑）



【適応対象】

1. 重症熱傷

重篤な広範囲熱傷で、かつ、受傷面積として深達性 度熱傷創及び 度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象とする。

2. 先天性巨大色素性母斑

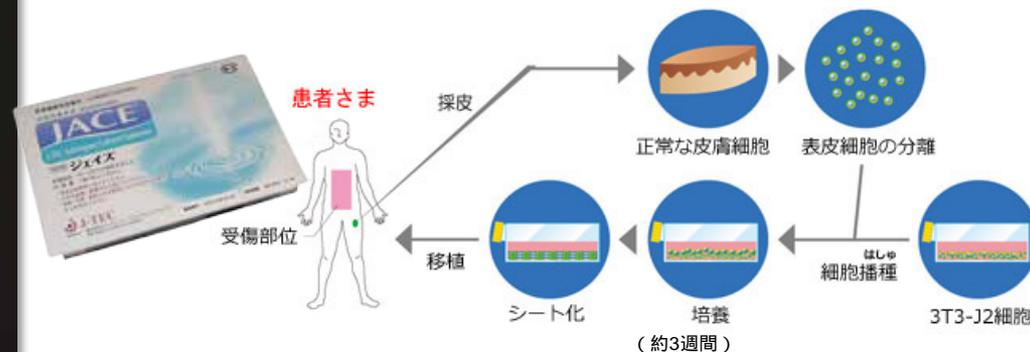
表皮細胞シートは先天性巨大色素性母斑を切除した後の創部に適用し、創を閉鎖することを目的とする。

【保険償還価格】（H28年4月～）

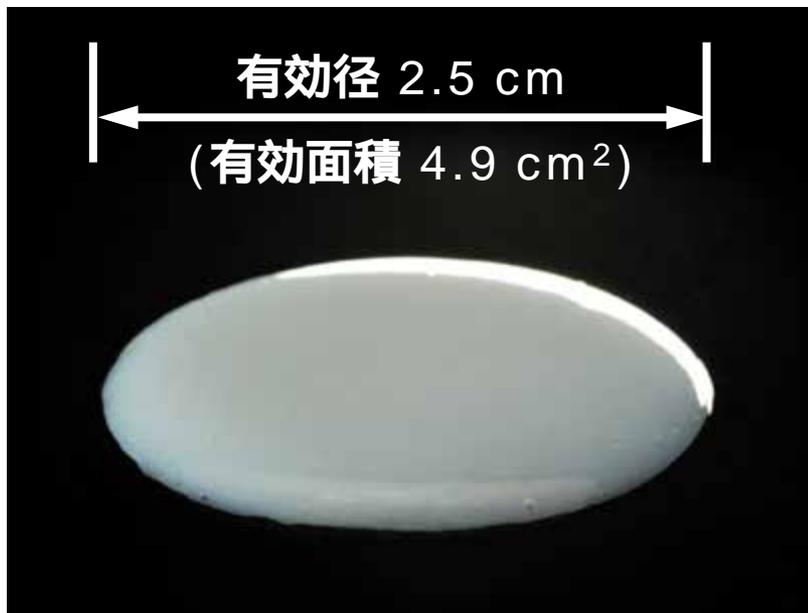
採取・培養キット：4,380千円

調製・移植キット：151千円/枚

（算定限度：熱傷40枚・母斑30枚）



自家培養軟骨ジャック



【適応対象】

膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎（変形性膝関節症を除く）の臨床症状の緩和。ただし、他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が4cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る。

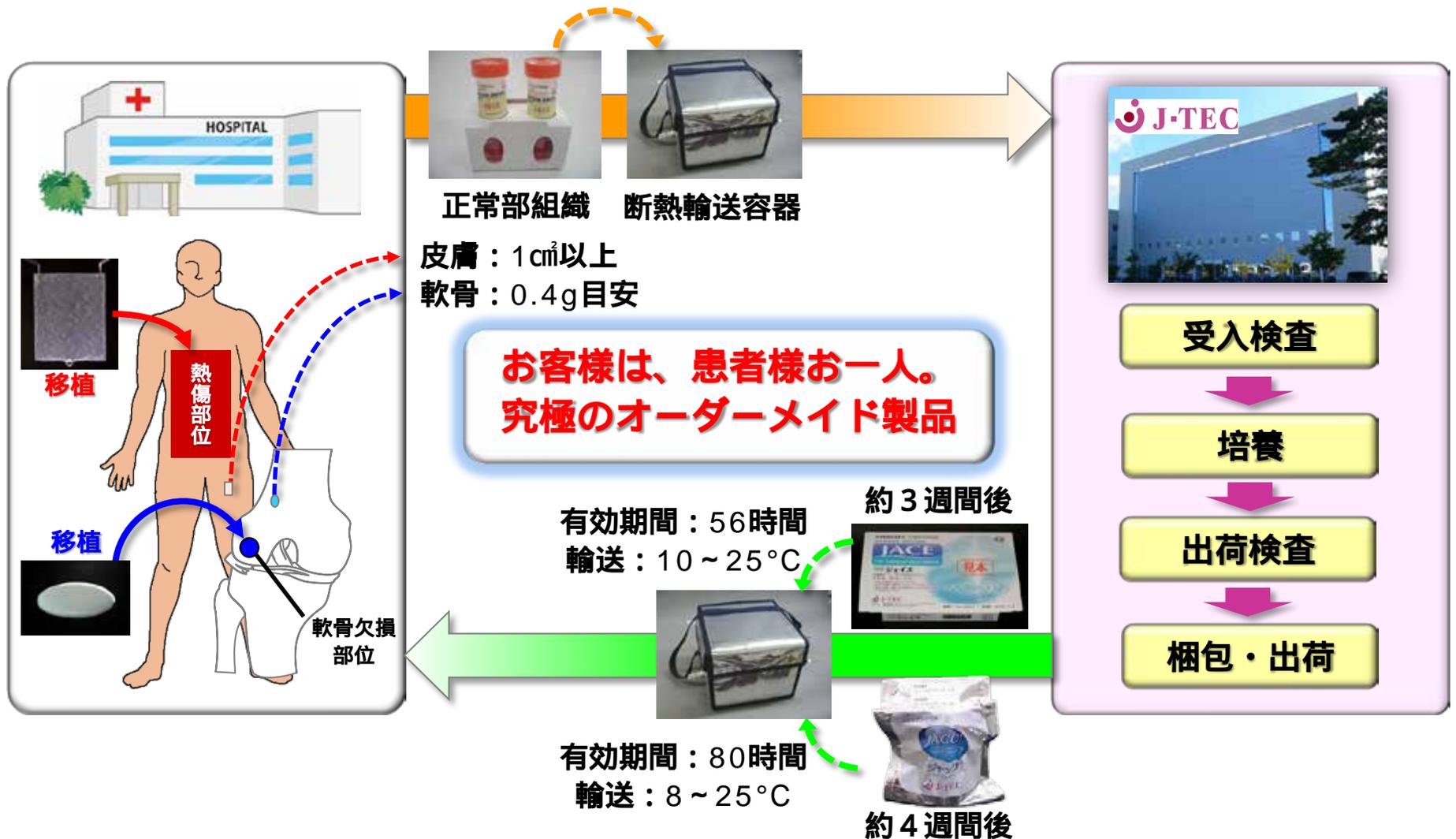
【保険償還価格】（H28年4月～）

採取・培養キット：879千円
調製・移植キット：1,250千円
（使用した個数に係らない）



参考資料

自家再生医療等製品のビジネスモデル



本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

経営管理本部

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp